

令和7年第5回市議会定例会

提出予定議案概要等

令和7年11月26日

12月補正の予算額について

	補正予算額	累 計
一般会計	7億2,987万円	561億183万円
全 会 計	8億6,708万円	1,142億9,203万円

小松を明るく、にぎやかに



世界に時めく日本海側の拠点都市こまつ

・市内コンベンション開催支援費

利用実績増に伴うコンベンション等開催補助金の増加

600万円



自然が映え文化が息づくふるさとこまつ

・人間国宝中田一於展開催費 (ス) (新)

750万円

人間国宝に認定された中田一於さんを称え、記念の展覧会を開催
(令和8年3月20日～5月17日)

子どもたちの輝く未来創造都市こまつ

・私立こども園等運営費

公定価格の増に伴う施設運営費の追加

4億8,600万円



・学校給食費

栄養バランスのとれた安心安全な給食の継続のため、
食料品価格高騰に対応

1,000万円

ワンランク上の生活空間あふれるこまつ

・未来型図書館等複合施設費 (ス)

174億4,500万円

【債務負担行為：令和8～26年】

PFI方式で整備する複合施設の整備費及び15年間の運営費

整備費

105億3,000万円 [令和8～12年]

管理運営費(開館準備費含む)

総額 69億1,500万円

開館準備期間 令和 9～11年

運営15年間 令和12～26年



誰もが暮らし続けられる生涯安心のこまつ

・物価高騰緊急支援給付金費(調整給付分) 1億9,000万円

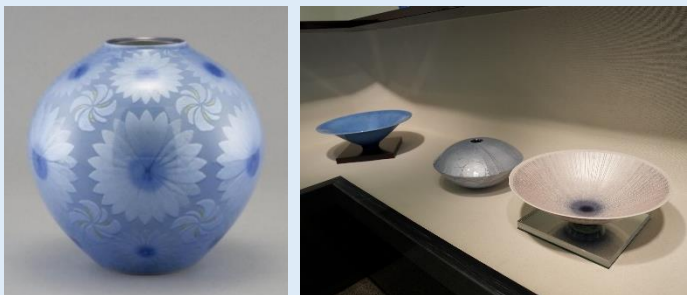
令和7年度市民税の確定に伴い、不足額給付の支給見込みに合わせて
予算を追加



令和7年11月5日（水）

中田一於さんへ **人間国宝認定書** が交付

10月10日に陶芸技法「釉下彩」で人間国宝に認定された中田さんに文化庁より認定書が京都で交付されました。今回の人間国宝認定を受け、小松市名誉市民推挙についても調整中。



人間国宝認定記念 特別展

銀 と 彩

— 人間国宝 《釉下彩》 ・ 中田一於の世界 —

【会 期】 令和8年3月20日（金・祝）～5月17日（日）

【会 場】 小松市立本陣記念美術館

【入館料】 一般300円（高校生以下・市内65歳以上無料）

【内 容】 人間国宝認定を記念して開催

中田さんがこれまで制作してきた作品を通じて
その優れた技法や銀彩の魅力を紹介

あわせてトークイベントやワークショップも開催

「大相撲小松場所」の開催

[illegible]

開催概要

開催日：2026.4.7（火）

開催場所：末広体育館（義経アリーナ）

主 催 者：大相撲小松場所実行委員会
吉本興業(株)、(株)LIVE FORWARD

開催発表会見及び凱旋トークショー

10/25（土）こまつドーム集会室にて実施



(左から)

公益財団法人日本相撲協会

巡業部 枝川親方

小松市長 宮橋 勝栄

(株)LIVE FORWARD

代表取締役 内田 久喜 氏



トークショー会場を埋め尽くした大勢のファン

市政 南加賀の新交流拠点「ウレシヤス小松」完成

10月23日 新ランドマーク「ウレシヤス小松」開業

来訪される人々や入居する企業、学生、地域の住民など
様々な交流が生まれることで、駅周辺に更なる魅力や賑わいを創出



1F エントランス



4F 公立小松大学 学生ホール



5F オフィスフロア



開業後、様々なイベント等の開催により、すでに
多くの人々が駅周辺に集まるなど人流が活性化

9・10F	ホテルグランビナリオ KOMATSU アネックス	供用開始
6～8F	北陸電力グループ オフィス	11月25日 開所
5F	小松市オフィスフロア (株)SUNTAC、リベラ(株) マルチコンピューティング(株)、YKK AP(株) ※テナント工事終了後、随時入居予定	4社5区画決定
4F	公立小松大学 中央第2キャンパス	供用開始
2F	こまつ北電ホール	供用開始
1F	商業テナント	2テナント出店予定



市 政 自動運転バス 車両バージョンアップ

自動運転バスが**最新モデル**に変わります

▶▶ 市が所有する
2台を順次交換



Minibus 1.0



Minibus 2.0

- 路線バスとしての**性能は同等**（車両サイズ、定員）
- 自動運転用**カメラ増**（16台→19台）
- ラッピングや路線バス用機器設置を同様に実施
- 利用者増加に対応するため、**客席を増設**（15席→17席）

レベル4 ※認可取得の取組を加速！

駅・空港間**全区間の認可**に向け、
新型車両で試験走行・申請手続きを実施



路線バス運行が一段とレベルアップ！

2026年1～2月頃から、新型車両を投入
最新プログラムで駅・空港間移動をもっと快適に



関係者向け試乗会を開催

- ◎ 時期 12月下旬（予定）
- ◎ 内容
 - **Minibus 1.0 L4取組総括**
ドライバーが乗車し、
レベル4用プログラムで走行
 - **Minibus 2.0お披露目**

※自動運転レベル4：

〔システムによる監視・特定条件下に
おける完全自動運転〕

条例 乳児等通園支援事業 -全てのこどもと子育て家庭への支援を強化-

新たな通園制度として、**こども誰でも通園制度**を実施
親が働いていなくても月一定時間までこども園等を利用可能



制度の概要

- 対象
生後6か月から満3歳未満の**未就園児**
- 利用可能時間
こども1人あたり**月10時間**まで
- 実施施設
市が認可したこども園等 **条例**
- 利用料
こども1人1時間あたり**300円**程度

利用方法

条例

- 1.利用者による申請
- 2.市から認定通知書を発行
- 3.利用希望施設と面談
- 4.利用予約
- 5.利用開始(R8.4.1～)



スケジュール



条例 市街化調整区域における空家の利活用促進

小松市開発許可等の基準に関する条例の改正（許可対象要件の拡大）

R8.4.1
施行予定

【目的】 **空家の利活用**がしやすい制度改正により、**空き家増加の抑制、定住・移住の促進、地域の活性化を図る**

【対象空家】	【改正前】	【改正後拡大】
① 戸建て専用住宅	賃貸借不可	賃貸借可能
② 戸建て兼用住宅	賃貸借不可	賃貸借可能
③ 店舗(飲食店、小売店等)	賃貸借不可	賃貸借可能
④ 観光振興のための 宿泊・飲食等施設	石川県開発審査会 附議による許可	審査会附議不要、 本市で許可
⑤ 社会福祉事業施設 (老人デイサービスセンター等) ※社会福祉法に基づく地域密着型サービス 提供施設	既存町内区域 のみで許可	市街化調整区域 全域で許可が可能

条例 火災予防条例・火入れに関する条例の改正

～林野火災から命と自然を守るために～

【改正経緯】

R8.1.1施行

本年2月に発生した大規模な林野火災を受け、
林野火災予防の実効性を高めるための条例改正（総務省消防庁通知）

【主な改正内容】

- ①林野火災に関する**注意報・警報【新設】**
- ②林野の火入れ行為（野焼き等）の**中止・消火命令【新設】**

【注意報・警報発令時の取組】

- ◇市民への即時発信（SNS等）
- ◇消防によるパトロール強化（火入れ行為の規制）
- ◇迅速な初動対応（避難誘導・消火）



未来型図書館の目指す役割

- 多面的な機能が融合する **学びの拠点**
▶ 本や情報、展示、体験が結びつき知の循環が生まれます
- 市民が交流を通じて、共に成長し **未来を育む場**
▶ 出会いと対話から、新しい活動や価値が生まれます
- ワンランク上の暮らしを目指す **みんなの居場所**
▶ 誰もが気軽に過ごせ、居心地のよさと安心が生まれます



施設の概要

多様な機能を提供する **施設規模 約9,000㎡**

目標来館者数 **40万人／年**



機能の特徴

市民の学びを支える知の集積

図書館機能

魅力ある蔵書の拡充 **蔵書数35万冊**
ゆったりとした閲覧席 **360席**
新たな本との出会いとなる **テーマ配架**

小松の歴史・文化を次世代に継承

博物館機能

訪れるたびに変化のある **企画展示**
市民の発表・表現の場 **市民ギャラリー**
図書館と博物館の融合 **コレクションハブ**

市民の交流・活動・共創を支える

市民交流・活動

市民やコミュニティ活動を支える **様々な交流機能**
市民の憩いの場となる **カフェ・飲食機能**
10代の居場所や成長を支える **ティーンズスタジオ**
市民と未来を創造する **リビングラボ**

教育の振興、シニアの生きがいづくりや
若者の居場所づくりなど、福祉機能も合わせ持つ
新しい行政サービスの総合施設 を目指します

事業費（施設整備費・管理運営）

設計・建設・管理運営を一括性能発注（PFI手法が最適）
 ▶民間のノウハウ・創意工夫の発揮や長期的に安定した事業運営が期待

施設整備費

このうち、市の実質負担

総額 105.3 億円 ▶ 約 30.1 億円

✓R6からの物価上昇見込む
 （人件費・建設資材など）

＜ 主な費用の内訳 ＞
 基本・実施設計、工事監理
 本体工事費
 什器備品購入、システム整備
 外構工事 など

防衛省や国土交通省の
 手厚い補助金等を活用
 財政負担を大幅に抑制

管理運営費

15年間の管理運営費＋開館準備費

総額 69.15 億円 （年平均 4.61 億円）

✓R6からの物価上昇見込む
 ✓民間のノウハウ蓄積等から
 運営期間は15年が適当

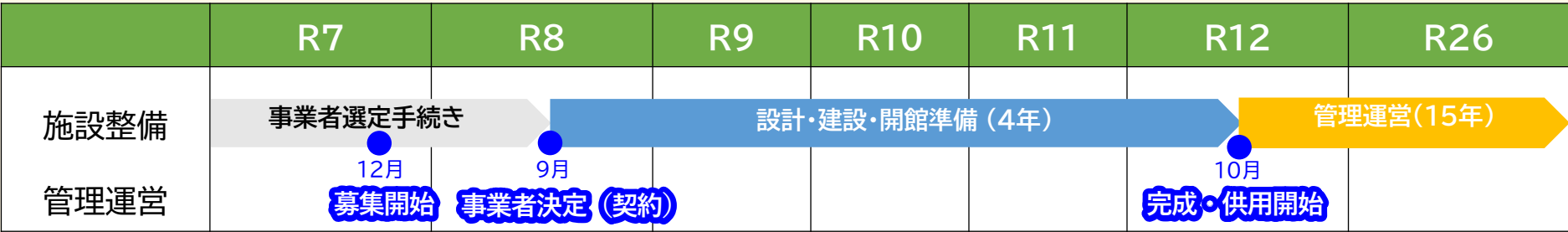
＜ 主な費用の内訳 ＞
 運営費：人件費、図書購入費
 維持管理費：施設・システム保守
 光熱水費
 開館準備費：人件費、図書移転

利用者満足度を高める
 施設運営に重点
 （一定の人員・管理運営費が必要）

PFIによる効率化・コスト縮減の提案により、さらなる財政負担の軽減も期待

今後のスケジュール

市制90周年



市民との共創のもと、22世紀に橋を架ける 新時代の小松のシンボル へ